




ケロイド・瘢痕拘縮形成術を受けられる患者さまへ

月日(日時)	/	/	/ ~ /	/ ~ /	/ ~ /	/	
経過(病日)	入院日		手術当日	手術後1~4日目	手術後5~7日目	手術後8~9日目	手術後10日目
達成目標	◆不安が最小限で手術が受けられる ◆入院の必要性を、患者・家族が理解し同意する ◆退院基準を理解し、同意する		◆疼痛がコントロールできる ◆手術創からの出血がない ◆循環動態が安定している	◆傷の色が良好である ◆創痛がコントロールできる ◆創部からの出血がない ◆創部のひきつれがない	◆傷の色が良好である ◆創痛がコントロールできる ◆創部のひきつれがない	◆創痛がコントロールできる ◆創部の異常がない	【退院基準】 ◆退院後の治療や注意事項が理解できる
治療・薬剤(点滴・内服)			手術予定は( : )頃です 手術後は点滴があります	毎食後に痛み止めの内服薬があります 手術後1日目、朝夕2回抗菌薬の点滴があります 手術後2日目以降は毎食後に抗菌薬の内服があります			
処置				毎日創部の消毒をします 		手術後8日目に抜糸します その後は、最低3ヶ月はテーピングが必要となります	テーピングを続けて下さい
検査				手術後7日目に採血があります			
活動安静度	制限ありません	手術後はベッド上安静になります	手術する部位によって、活動制限があります				
食事	食事( : )まで 飲水( : )まで 必要な場合、治療食となります	朝から夕まで絶食になります	食事が始まります				
清潔	入浴できます		体を拭きます			抜糸後はシャワー浴ができます	
排泄	制限ありません	手術中に尿の管が入ります	尿の管を抜きます				
患者様及びご家族への説明 リハビリ 栄養指導 服薬指導	受持医が入院治療計画と手術について説明いたします 看護師が入院生活について説明いたします 麻酔医が麻酔について説明いたします 薬剤師が薬について説明いたします 栄養士が食事について説明いたします 入院費に関するご心配がありましたら、お早めに医療福祉相談室にご相談ください		受持医が手術後に手術の経過について説明いたします 		看護師が退院後の注意点について説明いたします 医師よりテーピングについての説明・指導をいたします 	退院おめでとうございます 	

注1: 病名等は、現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくに従って変わることがあります

注2: 入院期間については現時点で予想される期間です